

平成29年度アルミ建材需要予測

平成29年4月1日
一般社団法人 日本サッシ協会

(単位:千トン)

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	実績	前年比	見込	前年比	予測	前年比
木造用 (1)	115	-2.9%	113	-1.8%	107	-5.2%
ビル用 (2)	102	-0.3%	93	-8.1%	90	-4.0%
アルミサッシ計 (1)+(2)=(3)	216	-1.7%	206	-4.8%	197	-4.7%
ドア (4)	24	0.2%	24	-1.7%	23	-2.5%
エクステリア (5)	114	-6.7%	108	-5.1%	105	-3.0%
アルミ製室内建具 (6)	36	-5.4%	36	1.0%	35	-1.7%
アルミ建材計 (3)(4)(5)(6)	390	-3.4%	374	-4.2%	360	-3.7%

コメント

建築着工 平成28年実績および年度見込み

1. 木造住宅用サッシ関係指標

1). 平成28年1月～12月実績

新設住宅着工戸数は、暦年で968千戸（前年比+6.4%）となりました。

新設住宅着工	戸数	968千戸	前年比	+6.4
新設住宅着工	床面積	78,299千㎡		+4.2
木造住宅	戸数	546千戸		+8.3
非木造住宅	〃	421千戸		+4.0
木造住宅	床面積	50,992千㎡		+5.6
非木造住宅	〃	27,237千㎡		+1.7
持家	戸数	292千戸		+3.1
貸家	戸数	419千戸		+10.5
分譲	戸数	251千戸		+4.1

2). 平成28年度の見込み(4月～3月)

新設住宅着工戸数は、年度で 979千戸（前年度比+6.3%）と見込みました。

2. ビル用サッシ関係指標

1). 平成28年1月～12月実績

全着工建築物の床面積は、暦年で133,014千㎡（前年比+2.6%）となりました。

全着工	床面積	133,014千㎡	前年比	+2.6
非木造	〃	76,435千㎡		+0.6
内非居住用	〃	46,578千㎡		-0.4

2). 平成28年度の見込み(4月～3月)

非木造用床面積は、年度で 78,100千㎡（前年度比+3.5%）と見込みました。

アルミ建材需要 平成29年度予測

1. 木造住宅用サッシ

平成29年度新設住宅着工戸数は、民間住宅投資の前年比マイナス予測により、減少するものと予想し、936千戸（前年度比▲4.4%）と見込みました。また、平成29年度の木造住宅は538千戸（前年度比▲3.3%）と想定しました。また、昨年、木造住宅用アルミサッシの構成比は、省エネの普及に伴い、アルミ樹脂複合サッシ並びに樹脂サッシの構成比と逆転し、木造住宅における一戸あたりのアルミサッシ重量は減少傾向にあり、平成29年度の木造住宅用アルミサッシ需要は、前年度比▲5.2%の107千トンと着工前年比の減少以上に減少するものと予測しました。

2. ビル用サッシ

平成29年度の非木造分野は、東京オリンピック・パラリンピックに向けて東京都における需要は堅調なものの、地方では依然として職人の不足等もあり、厳しい環境が想定されていることから、非木造床面積全国計では74,800千㎡（前年度比▲4.2%）と見込みました。よってビル用サッシ需要も、前年度比▲4.0%の90千トンと予測しました。

以上のことから、アルミ建材需要全体では、前年度比▲3.7%の360千トンと予測しました。

以上